

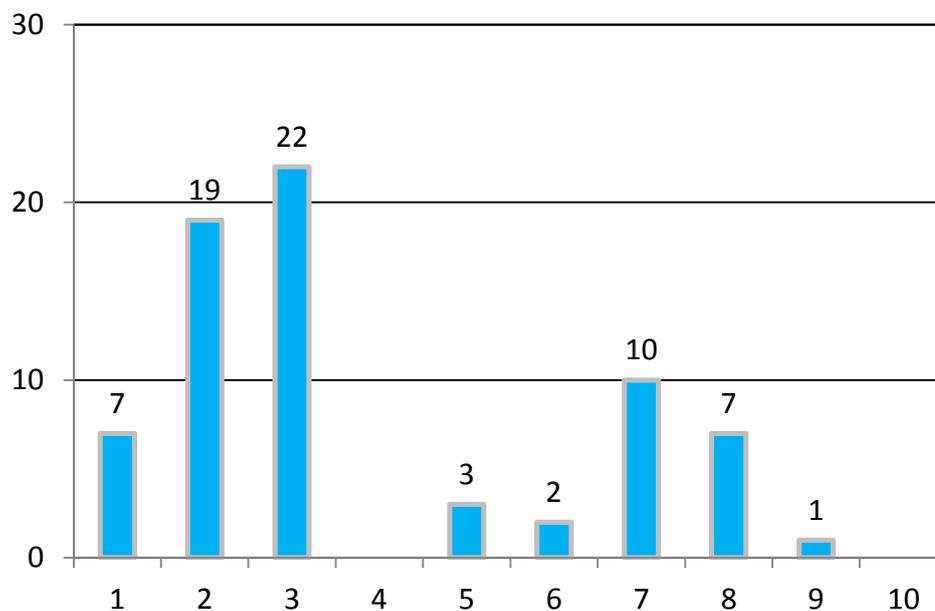
H27年度 Advanced COSA (1) 記述式アンケート/グラフ

[1] 回答者数

MC1	60
MC2	4
DC1	2
DC2	3
DC3	1
DC4以上	1
PD	0
その他/教員など	0
未回答	1
計	72

[2] あなたの所属を教えてください。

- 1.理学院/理学研究院 2.生命科学院/先端生命科学研究院 3.農学院/農学研究院 4.工学院/工学研究院
5.環境科学院/地球環境科学研究院 6.情報科学研究科 7.総合化学院 8.水産科学院/水産科学研究院
9.医学/歯学/獣医学/薬学/保健科学 10.その他



H27年度 Advanced COSA (1) 記述式アンケート/自由記入欄

No.	記述内容（原文のまま）
[2]講演内容について参考になった点や、印象に残った事などをご記入ください。	
1	どの講演者の方も、企業に入られてから様々な業種を経験されており、それらにポジティブに取り組むことで、自信のキャリアを形成されていた。
2	若手研究者に臨むこととどのようなキャリアを積んできたかということの2点が参考になりました。働く姿の具体的なイメージとそのためにもやることが明確だった点が良かったと思います。
3	企業に入ってから視野の持ち方を学べたので良かった。具体的な経験談を語ってもらえたので非常に参考になった。
4	企業の中で研究者にマネジメント担当者としての働き方に、どの様なものがあるかということをお話をお聞きすることができて、自分が企業に入社した場合にどのようなキャリアが考えられるのかのイメージが少しふくらんだ点で参考になった、どの講師の方も企業に入られてからも様々な勉強をして、自分の知識を深めて仕事に活かしている点が印象的だった。
5	どの研究職の方もスペシャリストの方も、一つの専門性だけではだめで多様な知識、技術が必要であるということ。
6	どの方も、視野を広く持つことを薦められていたうえ、自身のキャリアでも様々な事を勉強したと仰っていたことから、視野を広く持ち、課題や興味のあることに対して常に吸収し続けることが重要なのだろうと思った。
7	研究職の方はずっと研究だと思っていたが、人事や企画に回されることがあることを初めて知った。柔軟に職を選択する必要が有ると感じた。
8	いずれの先生方も視野を広く持つことの重要性を強調されており、大学との研究との違いは一番ここにあると感じた。
9	今は会社も大学との協力が不可欠であることが良く分かった。
10	様々な業種あるいはキャリアを経験した方の話を聞き、たとえ研究就職であってもそれ以外の業務やキャリアを経験するような話を多く聞いた。
11	さまざまな部署を経験されている方が多く、たくさんの職種についてのお話を聞いてすごくよかったです。みなさんご自身のお仕事に誇りと楽しみと期待と時にユーモアを持っており、自分もこんな人になりたいと思いました。
12	あるべき姿と現状の差 原因3つ考える→原因1つに対して対策3つ 将来の事象を予測し、それが自分にどう影響を与えるのかを考え行動したいと思う。
13	卒業した後、実際にどのように企業の中でやっていくのかという話を聞いて良かった。
14	W型人間
15	サントリーの山田さんのお話から非常に刺激を受けました。不安はたくさんありますが、“楽しむ”ということが大前提に仕事をすすめていくことが未来につながっていく気がして勇気が出ました。
16	専門性を深めることは重要だが、それだけでなく幅広い分野の知識なども持った人間になることが重要だということを経験した角度で複数の講師の方々が言われていたのが印象的だった。
17	全員に共通して感じたことは何歳になっても良い仕事をしていくためには、継続して新しい分野のことも勉強していくことが不可欠なのということでした。
18	研究開発にかぎらず、様々な経験に基づく心構え等を聞いた事が参考になった。
19	キャリアパスについて。

20	NEC土肥さん 車の衝突実験に関して、実践とスパコンシミュレーションの優位性の逆転が起こる時期を経験したこと。私はこれからもどんどんスパコンの優位性が高まると思っているし、研究者の専門の割合も変わってくるのではと思う。いいような。寂しいような。
21	今回のAdvanced COSAでは今まで自分が知らなかった企業の実際を知れて良かった。
22	バックグラウンドの異なる同僚とのチームで進むプロジェクトにおける心遣い。
23	研究室での身近な体験を多く聞く事ができた。
24	講義をして下さった方、全員のキャリアや仕事上での話を聞いて良かったです。又皆さんが仕事を通じて社会に貢献したいというようなことを話されていたのが印象に残りました。
25	博士課程への考え方。
26	具体的な仕事のテーマが聞いて参考になった。
27	企業の実際の業務内容や様々な経験が聞いて勉強になりました。
28	講師の方々が仕事生活を積極的に楽しんでいるのが伝わってきた。興味のあることの情報収集をし、広い視野を持つことの重要性が分かった。
29	異分野にもしっかり目を向けなければいけないということを実感した。また10年後のキャリアパスに目を向けることの大切さを理解した。
30	土肥さんのいろいろな分野に多く手を伸ばし様々なプロジェクトを取組んでいる姿が印象的でうらやましいと感じました。
31	単位欲しさに受講しに来たが、実際に企業で働いている大先輩の話がきけて、良い刺激になった！
32	講演に来られた先生方は自分のためにうまく会社を利用しているなと思いました。研究熱心でもいいが、タコソバ化しない事、鳥の目をもつことが大事である。
33	視野を広げようと思った。
34	企業の理念や実際に行っている研究内容など意外と社会人でも勉強をしているのかと印象に残った。
35	社会で活躍するために自分がこれからどのような事を心がけて学生生活を行っていくべきかの指針を学ぶ事ができました。自分が狭い視野で物事に取り組んでしまっていたことに気づけました。
36	企業での研究開発業務の実際を知り、そこに向かって自分が何をすべきか具体的に考えられるようになった。
37	様々な体験談や会社での考え方やキャリアについて聞いてとても自分のためになった。自由に研究をしていけるような企業にも興味を持った。
38	自身のキャリアパスがどのようになるか不安に感じています。今回のA-COSAを通じて様々な「ワラジ」の増やし方があると知り、今後は流れに身を任せようと思う。
39	各講師の方々が幅広い視野を持ち、自分の専門にこだわらないこと、入社してからも学ぶ事が多く人生勉強であるといった言葉が印象に残りました。
40	色んな部署を経験されてきた方々の話が非常に面白かった。どんな会社にもこういった人が何人もいるのだろうか、それとも大企業だからこそなのか・・・。

41	専門外の知識や事業が必要とされるのは、当たり前なのかと感じました。またグローバルな視点を持つことも、今や自然な流れということ。
42	様々な会社の様々な立場の方がいらっしゃったが、会社が面白く、好きであることは共通していたのだなと思った。
43	新規事業を始めるにあたってのドメイン知識の重要性を認識しました。2以上のワラジを履けるように頑張りたいです。
44	どこまでいっても、どこに行っても学ぶ姿勢、常に周りを見る姿勢が重要だということが分かった。
45	ひとつの業務だけでなく、開発や研究など様々な経験をしていることに驚いた。なにをやってきたというより、企業で何をやるかだとわかった。
46	山田先生、由利先生の経歴が他分野に及んでいて印象的でした。今年就活を経験し、自分の専門と異なる企業から内定をもらいました。教授と専門を活かすかどうかでもめましたが、自分の選択を肯定されたような気がしません。教授はやはり視野の狭いこつぽ人間だと思いました。
47	4名の方々のキャリアの多様性さとその先々で自らやるべき事を見つけて混同してきたという経緯を知ることができた。講演者の方々がみな課題に多くぶつかりながらもどこか楽しみながら仕事と付き合っていることが印象的でした。
48	会社のことよりもそれぞれの方たちの経験の話がとても参考になりました。一番印象深いのはサントリーの山田さん。なんといってもたくさんのお仕事をしてきて、このような道もあるんだなととても参考になりました。
49	講演者の方々が皆自分の仕事に誇りを持っている印象を受け、私もそのようなキャリアを形成したいと思いました。
50	就職して、少し仕事をした上で今のうちにしておいた方が良いと思えることを通して学べた点が良かった。
51	講師の方ひとりひとり、自分の信念を持って仕事に取り組んでおられることが分かった。特に山田さんの「二足のわらじ」とサントリーの長期的視点での社会貢献は印象に残った。
52	企業人として成功するためには、どの様な業務であっても好奇心とバイタリティをもつ必要が有るということを確認ができた。
53	「新世代の主流は傍流から生まれる」という言葉で励まされて新しくバイオ系の分野に入ったという話が印象に残った。言葉自体は当たり前のことだが、言い方次第で相手を動かすことができるのだと思った。
54	様々な方からのお話を伺ったが、比較的共通していたことが「幅」についてのことだったように思う。専門的知識を身に付けることはもちろんだが、様々なことにアンテナを伸ばすことが重要ということを学ぶ事ができた。
55	全ての方に共通していたのが命令待ちの受け身の人間ではなく、自分で考え、行動しそこで初めてフィードバックや評価を受けているというのが印象的でした。
56	どの講師の方も「視野は広く、専門に拘りすぎず多様に」というメッセージが共通していた事。
57	企業に入った際にどのようなことが必要になるのかを知ることができてとても参考になった。
58	社会で働いている方々の生の声を聞いて、言葉に重みを感じました。今回、講演をして頂いた方々を含め、自分の尊敬する人物は勉強の精神を忘れず、行動力、向上心を持っている方々でした。一番心に残っているのは由利さんの「悲観的に考え、楽観的に行動する」という言葉です。ネガティブな自分にGOサインを出してくれたように感じました。
59	NECの土肥さん、ヤンマーの由利さん、サントリーの山田さん、中外製薬の安崎さん4名の方の話で共通しているのが、2以上のワラジをもつこと、常に興味の幅を広くもち、広い視点で物事をとらえていくことだったのがとても印象に残りました。参考になったのは、やはり社会に出て働くようになってからも常に勉強の連続でONとOFFをうまく使い分けられるような時間の使い方を身に付けておく事を大事だと見えた事です。
60	様々な分野の企業の方々の講演を聞いて、分野は異なっても業務に対する心構えなど共通していることが多く、とても興味深く感じた。

61	将来製薬企業で新薬の創出に携わりたいと思っていて、今回のA-COSAで企業の内情や事業展開を詳しく知ることができて良かった。特に薬学の出身で年の近い安崎さんの中外製薬の話はアカデミックでの研究と企業での研究を比較した話が多く聞けて近い将来像を思い浮かべるきっかけがもてて良かったです。
62	大学と企業の違いを知ることができたのは参考になった。企業における実際の業務や困難に直面した時の対処の仕方など、講師の方の具体的な活動内容に触れることが出来、参考になった。
63	以前赤い糸会でご一緒させて頂いた安崎さんのお話を伺い、来年度以降の入社後の自分の将来像をイメージしていました。企業での業務を通じて悩んだり、考えたり、気づきなどもあるのだと改めて感じていました。また、今の自分に足りない点など、改めて見つめ直していきたいと感じるとともに学生時代に出来ることを取組んでいきたいと思いました。
64	北大から企業に就職し、出世していった方々の来歴はとても興味深かった。
65	企業に就職すると幅広い知識が必要になることを学んだ。また移動が多いので環境へ適応する力も必要になると感じた。
66	企業に入社してその後どのようにキャリアをステップアップしていくかを今まであまり聞く機会がなかったので、非常に良い体験となった、

[3] 今後、Advanced COSA(1)で講演してほしい講師の分野(企業/業種)を教えてください。	
1	・ 広告 ・ 食品
2	分野が分散していればどの組み合わせでも良いと思います。
3	食品関連企業
4	日本水産、マルハニチロ、食品業界、ミズノ、アディダス、ナイキ、スポーツ用品メーカーの開発の方
5	TOYOTA、YAMAHA
6	化粧品、トイレタリー分野
7	ベンチャー系
8	製薬企業
9	コンサルタント、商社（特に理系から入社した人の話がききたいです。）
10	食品業界、化学品等
11	JSR、化学系の企業
12	公的機関（理化学研究所、産業技術総合研究所など）
13	石油会社、化工系の企業
14	材料メーカーの講演を聞きたいです。
15	公的研究機関（産総研、理研、原子力機構など）、業界大手ではなく中程度の会社、外資系やベンチャー企業

16	私は食品栄養学の勉強をしているので、食品企業の方に来て頂けると興味を持って話が聞けるとおもいます。
17	製薬会社、食品系企業
18	(株)スパイダー
19	特にこだわらず多岐の分野の講演を聞きたい。
20	材料系企業
21	ブリヂストンのタイヤ作り、化学メーカーでモノマー、ポリマー、新規開発、製薬開発に携わった人の話。
22	農家
23	食品業界
24	化学、材料
25	食品、製薬、顕微鏡（オリンパス、NICON、ZEISS, etc)
26	重工業やエレクトロニクスといった分野や自動車業界について
27	自動車
28	インフラ計、電力、JR等
29	広告、ゼネコン、化粧品
30	電機メーカー
31	東芝、日立、三菱などの総合電機メーカー
32	東芝/半導体、コマツ、YKK、電力会社/インフラ
33	製鉄、大手電機メーカー、インフラ
34	B to Bの素材メーカー（繊維や食品添加物）の研究職
35	研究職がほとんどだったので、人事部の話なども聞いてみたい。
36	食品企業の商品開発、農業系の企業
37	化学/石油/繊維の生産技術職
38	メーカー（化粧品、タイヤ、スポーツ）

39	話ではよく聞かすが、よく分からない。戦略コンサル、MBA教師。←MBAの重要性、有用性を知りたいです。
40	製薬企業、化学系企業（化粧品等）、食品企業
41	企業だけではなく、理系の国家OR地方公務員の仕事内容も気になります。
42	化粧品会社、化学系、若手研究員、女性研究者、女性ベテラン社員
43	ファイザー、GSK（外資製薬）、信越化学、旭化成（B to Bの化学大手）
44	公務員系、住宅系
45	お菓子の企業の話を知りたいです。
46	営業をやってきた人、自分たちと年が近い人の話もまたききたい（もちろんベテランの方の話も）
47	製造業
48	理系から文系職に進んでキャリアを積まれた方の話も伺ってみたいです。あるいは公的機関にも興味があります。
49	大企業だけではなく、ベンチャー企業や地域の企業なども聞いてみたいです。
50	化粧品業界の開発・研究、理系だけでなく文系出身の方の講演も聞きたいです。金融や商社。
51	食品系、研究だけでなく、研究や商品開発、品質管理、営業など様々な業務を経験した方のお話がきけるとよいです。
52	生産技術職や理系総合職
53	公務員（技術系）の方の話も聞いてみたいです。
54	理系院卒で直接研究と関わらない業種に就いた方（大学での学びを研究以外の分野でいかに生かせるか）
55	農学の中でも特に食品化学などの農芸化学の背景を持つ方の話を聞いてみたい。農学院の聴講者が多いので農学系の方の話を聞きたい。
56	バイオ系、食品系、種苗会社
57	今日、飲料のサントリーさんに来て頂きましたが、食品大手の企業にも来てほしかったです。
58	食品関係の企業
59	いろいろな分野の方の話を聞きたい
60	食品、NPO
61	JICA/海外コンサルティング（テラサイクル）
62	製薬・食品

63	製薬会社、化粧品、化学メーカー
64	非鉄金属業界、鉄鋼業界
65	食品メーカー
66	食品企業
67	自分が希望していることでもあります、食品業界

[4.]Advanced COSA(1)についてのご感想・ご要望などをご記入ください。	
1	幅広い業界、業種の方のお話を聞く事ができ、自分の中で様々な比較をすることができた。質疑討論の時間が十分に用意されていたので、満足できた。函館キャンパスで参加者が集まればこちらでの講演も行ってほしい。 →函館にはいつもしわ寄せが行って申し訳ありません。来年度のキャリアマネジメントセミナーでは、何回かの講義を函館でも開催しようかと考えています。ご期待ください。
2	今回は比較的バイオ系の内容が多く、かつジャンルが違う企業であったこともあり、バイオ系の自分には非常に面白く興味深い点が多かったです。また博士を取っていない人から見た博士の姿は自分が外から見るとどう見えるのかということについて考えるヒントになりました。
3	質疑討論の時間を長めに設定して下さっている点が良かったと思います。
4	この企業はこんなこともしているんだということが多く、企業研究の重要性を感じた、専門にマッチした企業に就職しても本当にそれができるかはわからないんだなと思った。→そのとおりです。でも、何でもできる、思っても見なかったことを経験できることを喜びに感じるといいですよ。
5	入社後の具体的なキャリアだけでなく、大学在学中の今からでも心がけられるアドバイスをいくつかいただき就職活動だけでなく学業のモチベーションも高まった。
6	とても参考になった。
7	社会で働く人の生の声を聞く事ができて良かったです。
8	普段なかなか聞く事の出来ない、企業に入ってから経験が聞ける貴重な機会だった。
9	皆さん優秀な人なんだろうなと思いました。
10	専門に近い分野からそうでない部分まで幅広くお話を伺う事ができて非常に有意義でした。
11	会社にはいってどんなことをやるのかを少しイメージすることができました。
12	十分に質問する時間があったので良かった。
13	社会人の方からお話が聞ける機会はなかなかないのでありがたい講義だったと思います。
14	興味深いお話、先生方の経験を踏まえたお話が聞いて勉強になった。
15	自分の専門とはあまり関係のない分野の講演が多く、面白いと思えるのだろうかと思いながら受講したが、実際には他分野の話聞いた事がむしろとても良かったように感じた。今やりたいと思っていることをさらに見つめなおすきっかけとなったと思う。→そうですね、多様化が叫ばれる意味が少しはお判りになったかと。長い人生、これから何をすることになるか判りませんよ。

16	大変勉強になりました。
17	短い時間しか参加できなかったけど、面白かった。自分が想像している将来像を歩んでる人の話をじっくり聞きたいと思った。
18	今回も大変勉強になりました。ありがとうございました。
19	若手研究員の人数を増やして欲しいです。→講師を若手に、ということですか？若手だけではやはり経験も少なく、まとまった話になりにくいのです。
20	より周知して欲しい。→周知しています。情報に敏感な方に受講していただければいいと思っています。
21	経歴の異なる人（博士から学士から企業など）の話が聞けたのはためになった、
22	特にヤンマーの由利さんのお話の中でバックキャストिंगを用いて自分が到達したい姿を描き、幅広い種類の企業の研究や業務内容、そしていろいろな職業人の考え方を知ることができ、とても有意義だった。
23	企業の人の働き方や考え方が良く分かった。とても為になった。
24	大変面白かったので、また話を是非聞きたいです。
25	短期集中型でとてもうれしいです。
26	企業の雰囲気を知れて良かった。がっちりマンデーをみてる気分だった。
27	非常に有意義な時間を過ごさせてもらった。所々グサッと刺さるような内容もあり、自分を見直す良い機会にもなった。
28	正直予想以上に参考になりました。自分の専門とは異分野の方々ばかりでしたが大変面白かったです。
29	今回の講師の方の経験談は非常に興味深いものでした。一方自分と照らし合わせると自分は大幅に能力が不足していると感じた。研究や研究以外の生活を通して少しでもそのギャップを埋めていたいと考えようになった。
30	モチベーションが上がりました。図表付きのレジュメ（出来る範囲で）が欲しい。→企業の方はかなり突っ込んだお話をいただいています。これは、レジュメなど記録に残るものを排除するから話せる、という面もあるのです。企業の内部事情はなかなか聞けないですよ。
31	昨年から参加させて頂いております。次回も楽しみにしています。
32	非常に勉強になった、T字、V字、W字型の人間になれるよう、幅広い視野をもちつつ残りの研究生活（大学院生活）を過ごしたい。
33	女性で働いている方の話をもっと聞きたいです。質問の時間が長い、交流の時間を長くしてほしいです。クリッカーでアンケートを取ってる意味がわからない。コメントが冷たかったです。→交流の時間は確かにそうですが、企業の第一線で活躍されている皆さんを拘束するのは大変なんですよ・・・冷たい？
34	非常に勉強になりました。個人的には樋口先生と講師の方々のやりとりから教えて頂いたことも多かったので、1テーマずつ座談会やパネラーとして4人の方々でお話頂けると楽しいのかなと思っています。→より理想的にはそのとおりですが、全員の講師を2日間拘束するのは大変難しいことをご理解ください。
35	バイオ産業学で学んだワード（イノベーションなど）が企業の中で常識的に使われていることを知って勉強した方が良かったと感じた。→そのとおりです！座学で聞いたことが実践でどのように使われているか、こうして連動して受講するとよく判りますね。

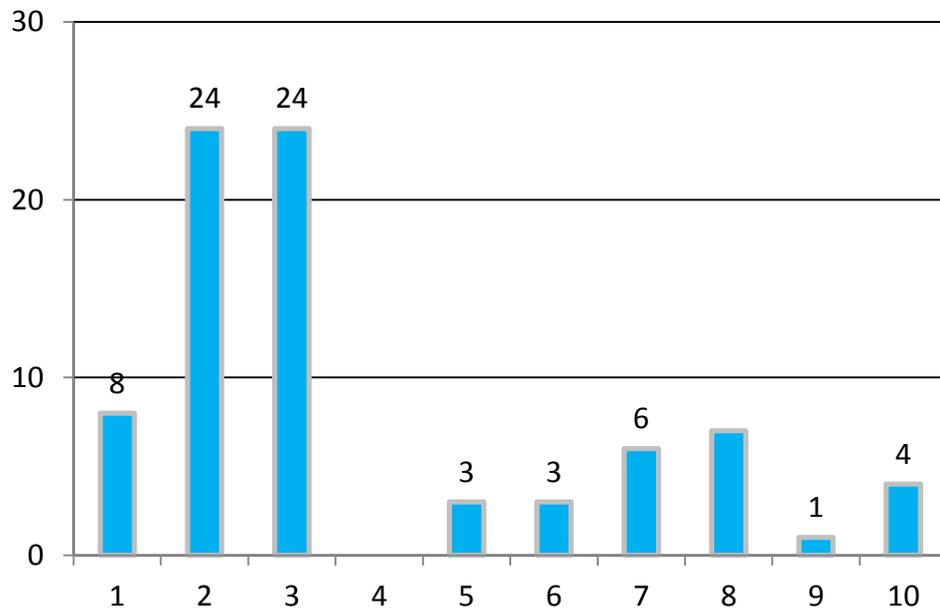
36	クリッカーは基本的に講演中には使われないんですね。樋口さんはだいぶ幅広い知識を持っていらっしゃるようで「人材育成」に関してはとても頼もしく感じました。樋口さんからの話を聞くだけでも、学部生にとっては人生の大きな指針になるのではないのでしょうか？一年生向けに「社会人に向けて学生生活で心が欠けるべきこと」など講演してみても？A-COSAの参加者も（将来的に）増えると思いますよ。→クリッカーが使えることを講師に伝えるのが遅かったです、反省。
37	楽しかった。短い時間で何回も講演がある方が嬉しい。（2日で長時間は長かった）→単位認定科目であることから時間の制約があることをご理解ください。たくさんの講師もそれは面白いと思いますが、4名もの第一線で活躍している企業人を同時期に集めることの難しさにも思いを馳せていただけたとうれしいです。
38	企業人として成功をおさめられた方の話を聞く事ができ、非常に有意義な2日間でした。
39	ためになる話が多くあり、自分自身の興味を大事にしていこうと考えるようになりました。それと共に、自分に足りないものが数えきれないほどあるとも感じ、身の引き締まる思いになりました。
40	お盆の週とかぶせないで欲しかったなあと思います。非常に貴重なお話が聞けて良かったです。→これは会場の都合もあり、我々にもどうしようもない部分でもあります。
41	内容の濃い大変ためになる授業でしたが、会場のデスクではメモが取りにくく、出来ればバイオ産業の教室の方が受けやすいと感じました。→第一会議室なら全員が机なのでいいのですが、確かにそうですね・・・でも会場はなかなか空いてないですよ。
42	自分に近い年齢の方から経験豊富な方まで幅広い年代のお話が聞けて良かったです。参加人数が多すぎなくて質問しやすくて良かったです。
43	就職してすぐの方が2人でも良いかもしれません。→昔はAdvanced COSAではなく、若手ばかり集めたBasic COSAも開講していたようです。でも、やはり第一線で活躍する人の話が聴きたいという要望が強くてこのような形式に進化したとのこと。
44	講師の方のプレゼンを資料として配布して欲しい。又は今回配られた講義概要より詳しいものが欲しい。→企業の講演内容はかなり対外的に秘密の部分が多く、だからこそ面白い、しかし資料は配らない、というポリシーの企業が多いのです。資料を配布しないから突っ込んだ話ができる、ということ。
45	企業の事業内容と講演者の体験をどちらも聞いてこれからキャリアを考える上での参考になった。若手研究者へのメッセージが配布資料にあることも面白くて参考になった。講演でクリッカーがあまり活用されていないので新しく何か使う方法がなければ配布しなくても良いとおもう。→クリッカーの活用方法をご提案ください。
46	様々な企業の方々から普段聞く事の出来ないお話が聞けてとてもよい経験になった。これから自分がしていくことの方向性、必要なことを示してくれるような機会になったと確認している。
47	4企業すべての方のお話が興味深く、すごくためになりました。
48	今後の学生生活の指針や企業の選定の際の参考になりました。出席することができて良かったです。
49	このような企業で中枢となって働いている社会人の話を聞ける機会は、こういった機会でないと思うチャンスはなかなかないのでとても良いチャンスであったと思います。
50	クリッカーが講義中余り活用されていなかったのが残念に思った。→講師に周知しておきます。
51	総合入試による進振り制度のある学部1年にAdvanced COSAのような講義をおこなってほしかった。→私たちが対象とできるのは（文部科学省から頂く予算の性格にも拠るのですが）博士課程学生だけなのです。でも、博士の候補としての修士、ということでこの講義は構成されているので、難しい・・・というか、学部まで広げると実際には会場も人数も無理です。
52	毎回のことですが、企業の方からのお話は大変興味深く研究室で聞けない事を学べるのは申請に感じていました。
53	高いポストで活躍しているOB・OGのお話を聞く事ができる大変良い機会だった。
54	普段話を聞く事の出来ない企業の方のお話を聞いて社会人になったら自分はどんなライフステージをたどっていくのかイメージができた。
55	実際に就職して間もない方のお話を聞いて実生活と重ねあわすことができて良かった。

[5] S-cubicへのご意見・ご要望などをご記入ください。	
1	修士課程を対象としたイベントをもっと増やして欲しい。→これは各部署の課題ですね、人材育成本部の文科省からのミッションが博士対象なので・・・。
2	若手が講師として話すことは、自分たちに近い年代の人を良く知り、働き始めた直後イメージしやすいので良いと思います。赤い糸会のOB・OGが多いので、赤い糸会現役参加者としても社会で活躍している姿を拝見できるのは心強いです。
3	就職のタイミングの経験についてももっと聞ければよいかと感じた。
4	論文投稿が佳境に入り、なかなか時間が取れないのが心苦しいですが、出来るだけ参加します！よろしくお願い致します。
5	社会人になってからも是非参加したい。
6	ガイダンスのスライドが見にくい。背景と同系色の文字、単色の文字やその逆、赤と緑を隣接させるなどスライド作りのタブーをことごとく網羅しています。こういう所が「光が反射してみづらい」などの意見の一因かと思えます。（ちなみにスライド真正面の前方の席に座っていました。）→今までほとんど聞けなかったご意見なので状況がよく判りません。スライドがそこまで見難いと言われたことは無いのですが・・・。スタッフにも確認してみます。
7	昨年の受講者の意見に言い訳ばかりしないでほしい。→言い訳ですが、みなさんからの要望はどんどん膨らんでいきますが、今の予算（毎年削減されている！）や要員ではこれが限界であることを少しはお判りいただきたい、というスタッフ全員の気持ちの代弁でもあります。ご理解頂ければと思います。
8	海外赴任が嫌なら企業就職は考え直した方がいいとか、グローバルでなきゃいけないみたいな考えはあまり好きではないです。私はグローバルでありたいと思いますが、必ずしもそうではないのでは？国内であるいは地元でコツコツ働いている人もきつという。→言い方がお気に召さなかったかもしれませんが、それが現実だということも受け入れる必要があると思います。元来が博士を対象にした講義なので、Ph. D. のあるべき姿論を展開しています。それを前提でお聞き頂ければと思います。
9	MCからのインターンシップにチャレンジして欲しいです。
10	これからも有益な講義を提供してください。楽しみにしております。
11	ELMSなどの他の学内システムと統合して欲しい。→そのとおりですね、でも莫大な予算とシステムエンジニアの工数が必要となります。今後数年間かけて検討するつもりです。
12	ありがとうございました。
13	今後もサポート、ご活動よろしくお願い致します。

H27年度 Advanced COSA (1) クリッカーアンケート/グラフ

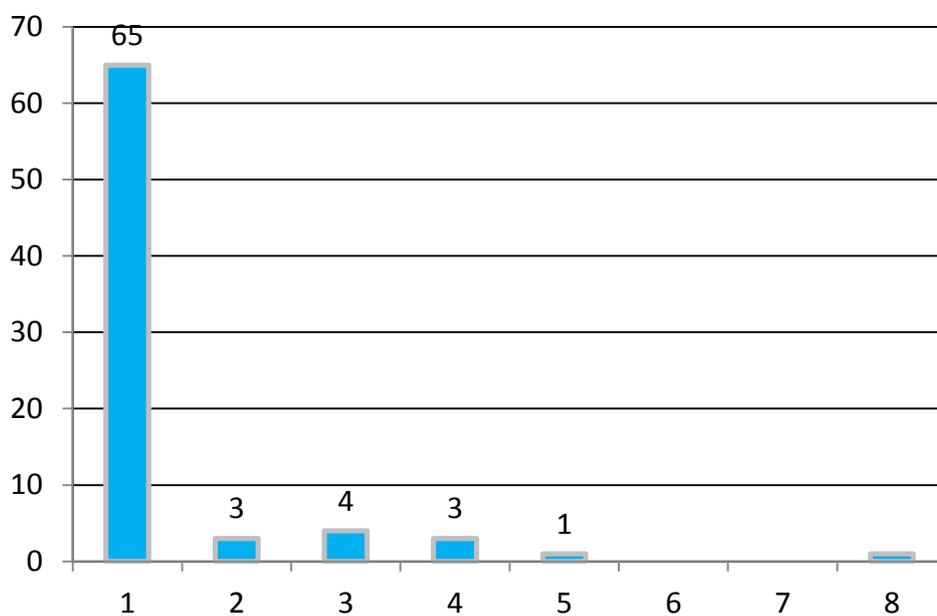
[1] あなたの所属を教えてください。

- 1.理学院/理学研究院 2.生命科学院/先端生命科学研究院 3.農学院/農学研究院 4.工学院/工学研究院
5.環境科学院/地球環境科学研究院 6.情報科学研究科 7.総合化学院 8.水産科学院/水産科学研究院
9.医学/歯学/獣医学/薬学/保健科学 10.その他



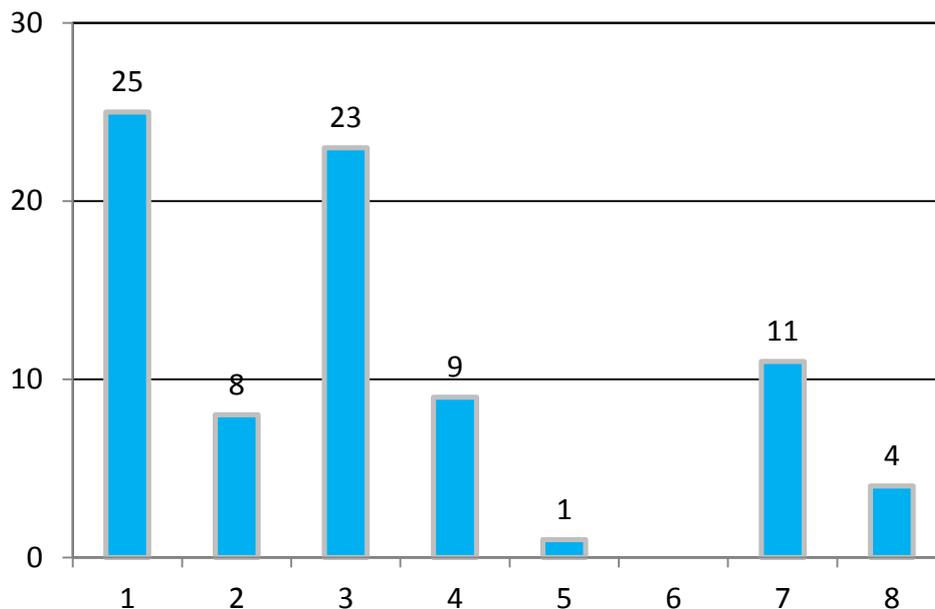
[2] あなたの学年・属性を教えてください。

- 1.MC1 2.MC2 3.DC1 4.DC2 5.DC3 6.DC4以上 7.PD 8.その他/教員など



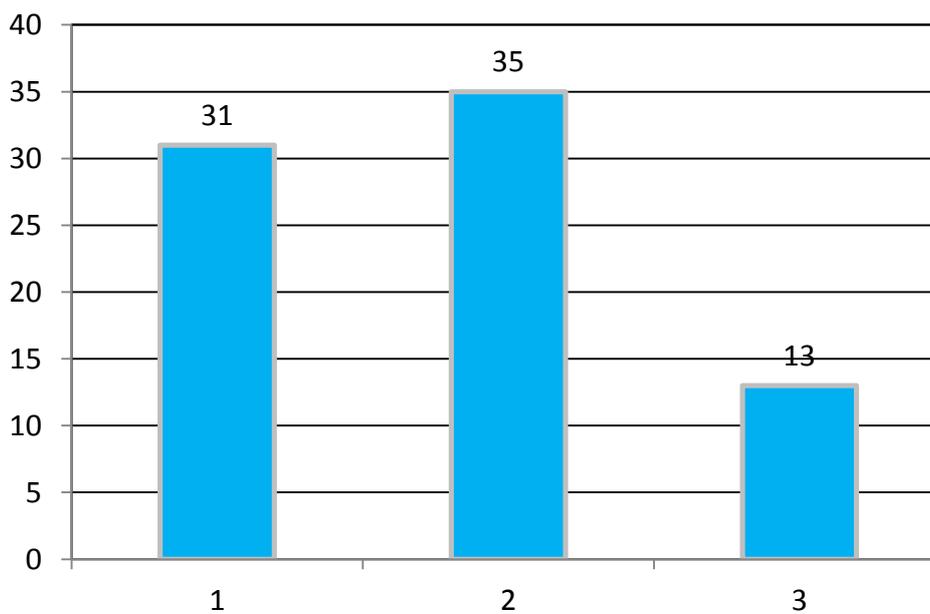
[3] あなたの出身学部を教えてください

1.理学部 2.工学部 3.農学部 4.薬学部 5.獣医学部 6.医・歯学部 7.水産学部 8.その他



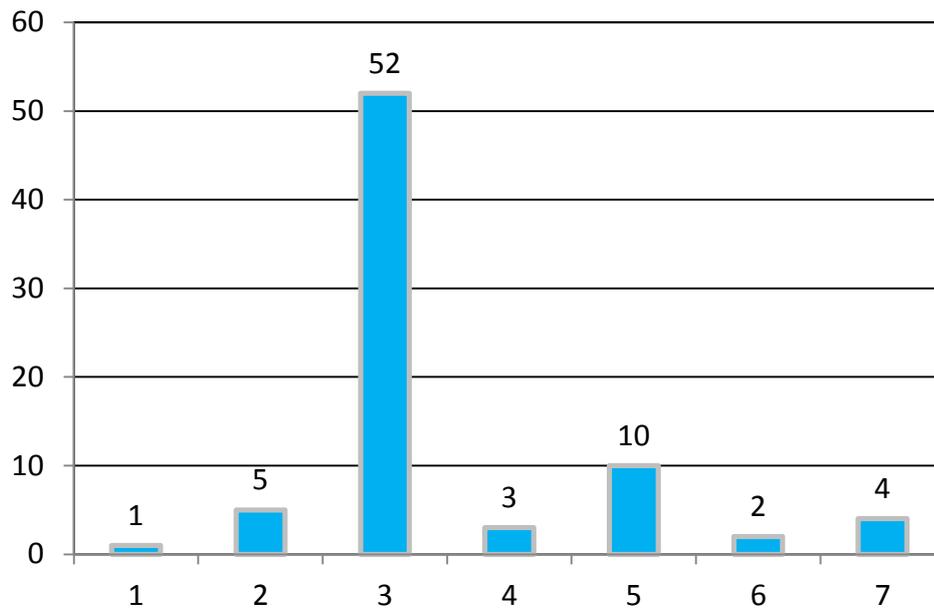
[4] 人材育成本部主催のセミナー等受講は初めてですか？

1.初めて 2.2回目 3.3回以上



[5] どのような分野への就職を希望しますか？

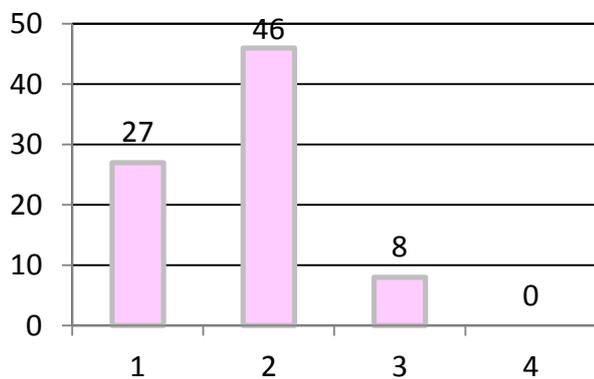
- 1.大学教員 2.国立研究所/試験所 3.企業研究開発部門 4.中学・高校教員 5.その他
6.今は考えていない 7.企業



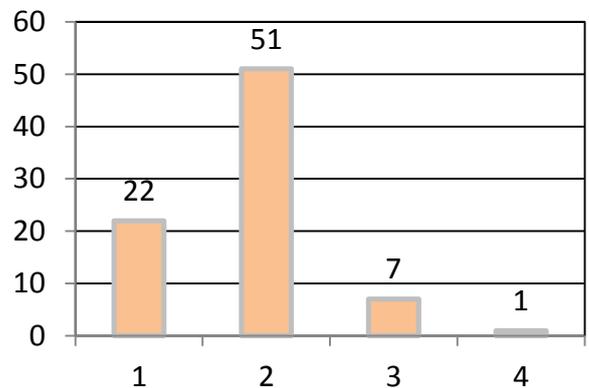
[6] どのような分野の企業に就職したいですか？

- 1.専門にマッチした企業 2.どこでも特に拘らない 3.専門とは異分野の企業 4.企業就職は考えていない

<受講前>



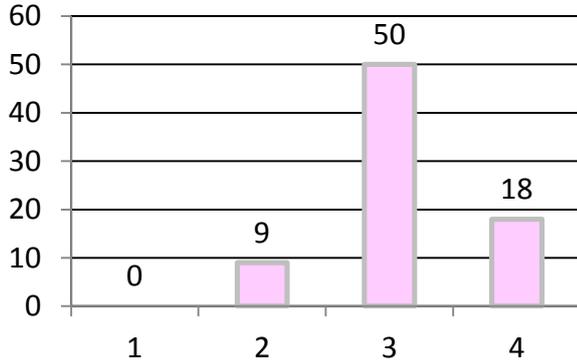
<受講後>



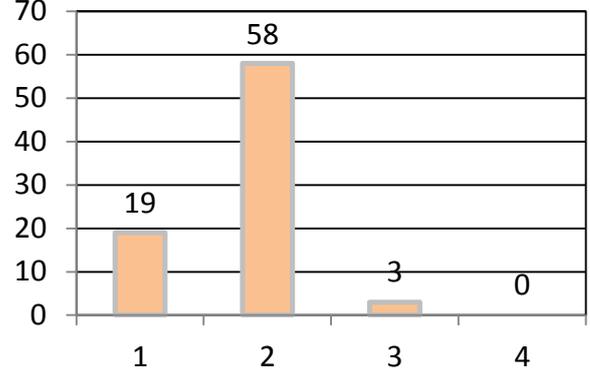
[7]企業の研究開発についてあなたはどの程度理解していますか？

- 1.具体的によく理解している 2.ある程度理解している 3.あまりよく理解していない 4.全く理解していない

<受講前>

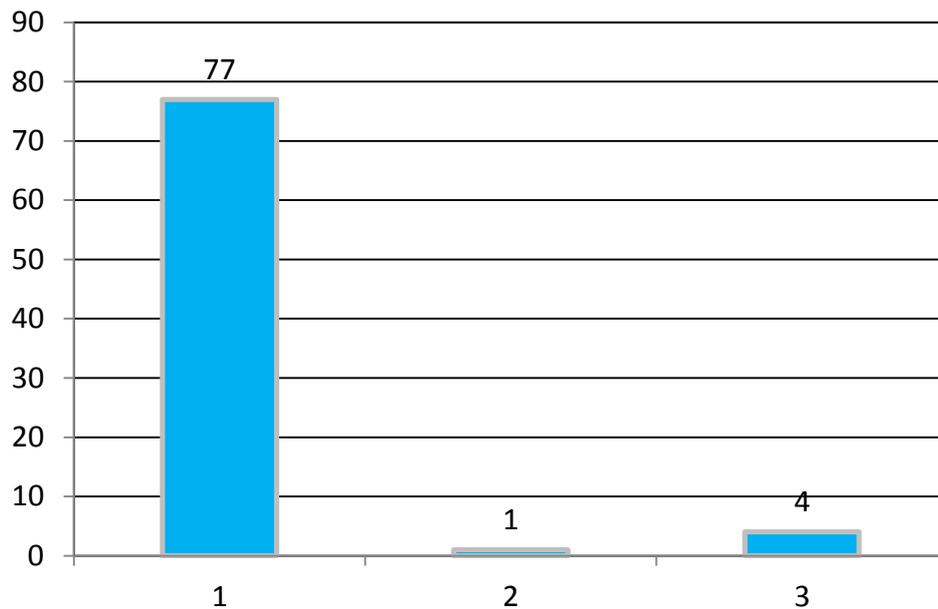


<受講後>



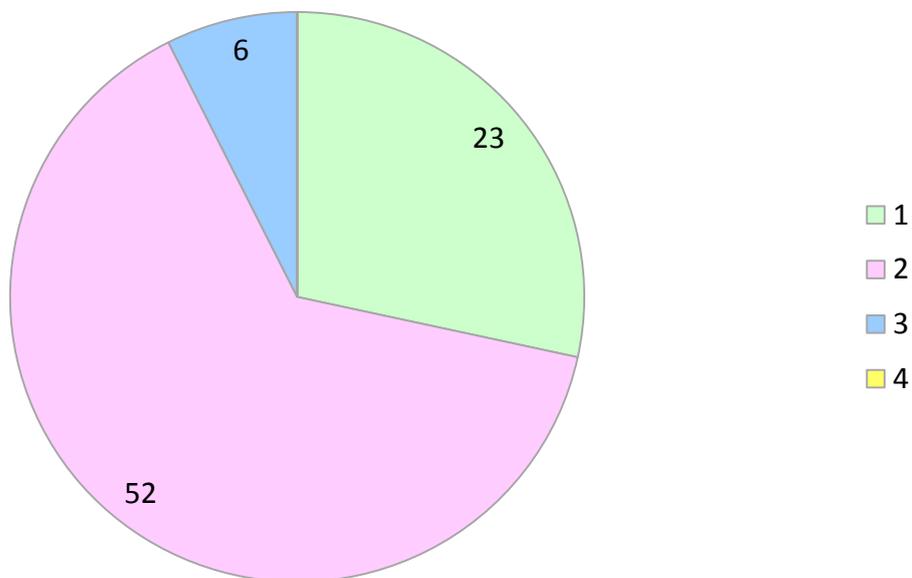
[8]今回の講義を受講して、企業研究の面白さ、特徴、実際の理解を進めることが出来ましたか？

- 1.はい 2.いいえ 3.わからない



[9] 企業での研究開発業務についてある程度以上理解したあなたはそこに魅力を感じましたか？

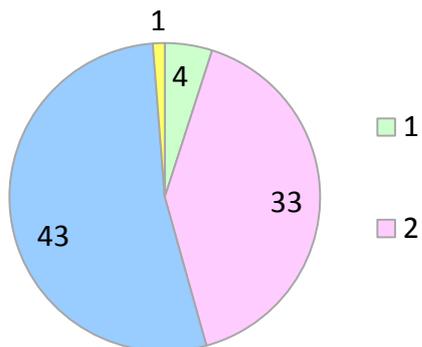
- 1.大変興味深くおもしろい
- 2.ある程度は興味を感じた
- 3.あまり興味がわかなかった
- 4.全く興味がわかなかった



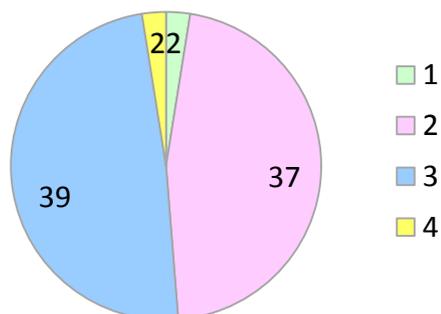
[10] 科学技術系のあなたが企業に就職した場合、どのような業務を担当したいですか？

- 1.あくまで自分の専門分野
- 2.科学技術分野なら何でも
- 3.事業やスタッフでもOK
- 4.科学技術系以外の業務を

<受講前>

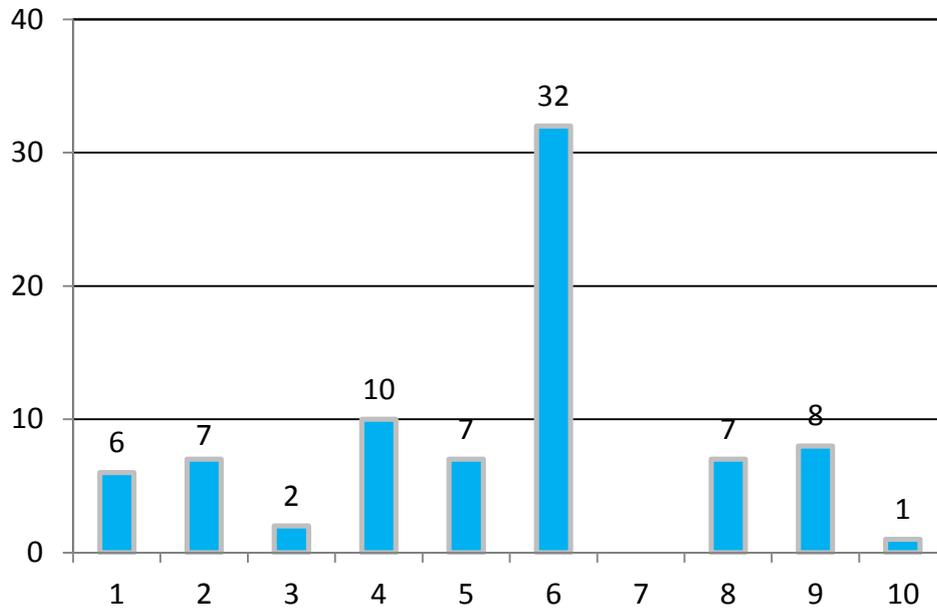


<受講後>



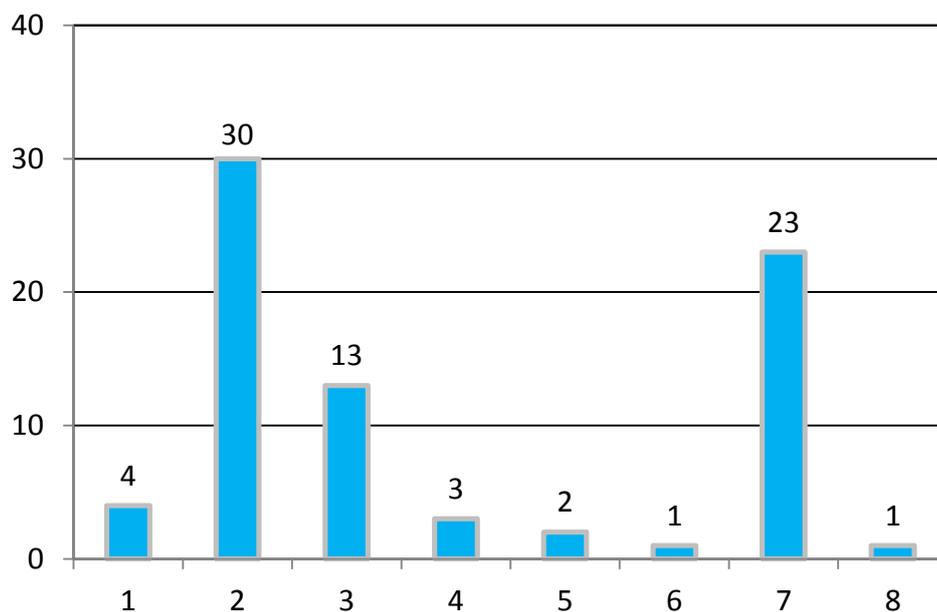
[11] A-COSA開催はどのようにして知りましたか？

- 1.教員からの情報
- 2.友人/知人情報
- 3.S-cubicのホームページ
- 4.S-cubicからのメール
- 5.掲示板ポスター/ちらし
- 6.シラバス
- 7.食堂の三角/蒲鉾POP
- 8.大学院入学式ガイダンス
- 9.他の講義での紹介
- 10.その他



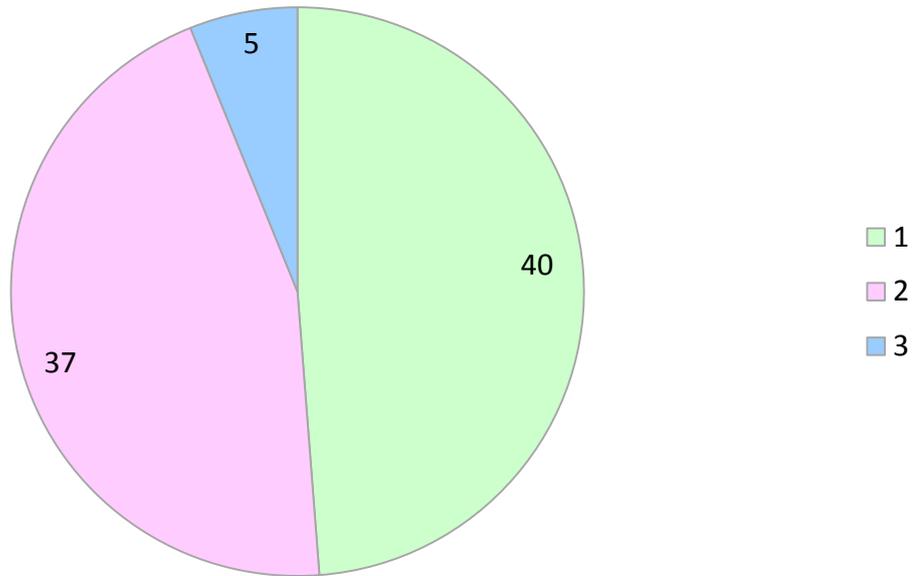
[12] A-COSAに参加の理由は？

- 1.興味ある企業が参加していた
- 2.企業の研究開発を知りたい
- 3.企業の人事制度や勤務実態を知りたい
- 4.講師の先生と意見交換したい
- 5.教員の勧め
- 6.友人/知人の勧め
- 7.単位が欲しい
- 8.その他



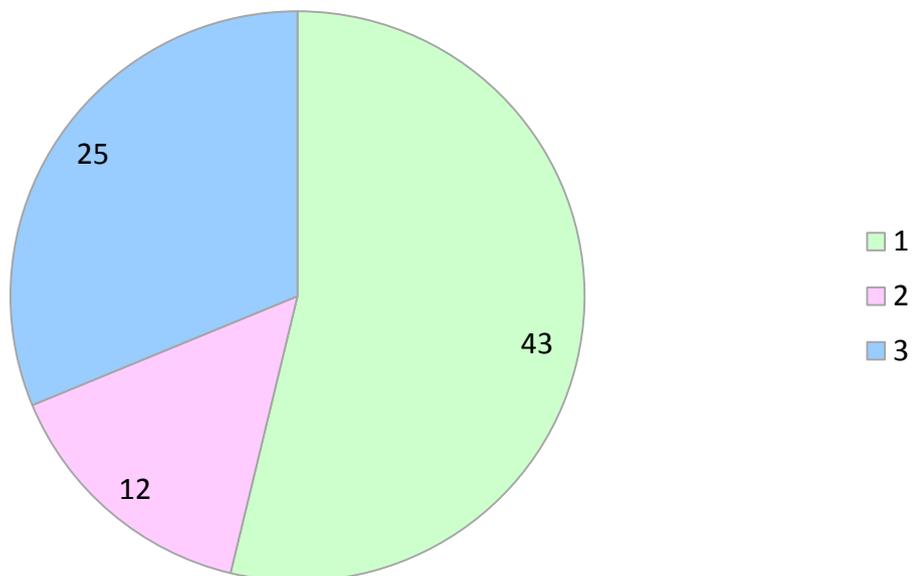
[13]A-COSAにまた参加したい？

- 1.是非参加したいと思う 2.テーマ次第で参加する 3.もう参加しないと思う



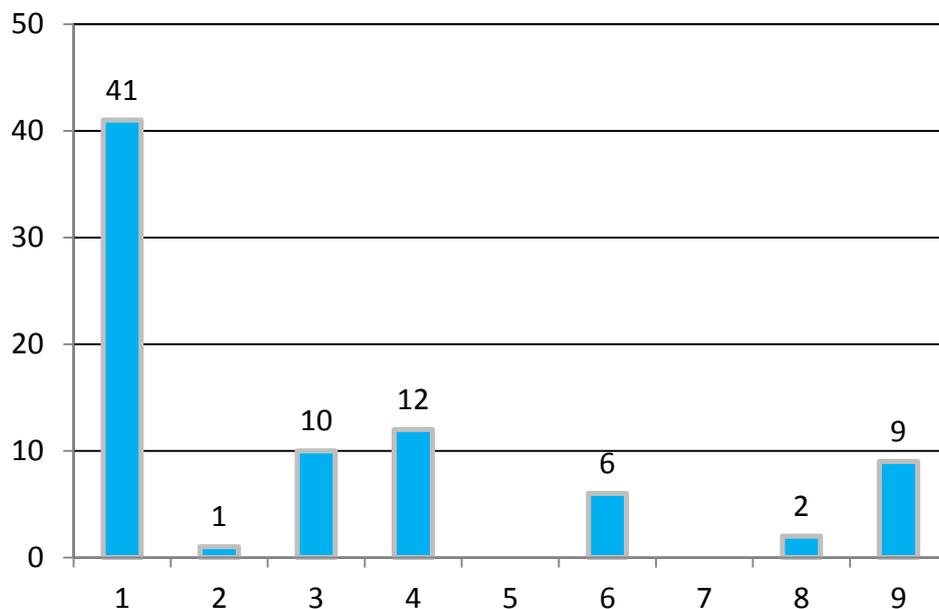
[14] このようなセミナーの開催希望日時は？

- 1.平日に開催が良い 2.土日の週末が良い 3.都合つけばいつでも



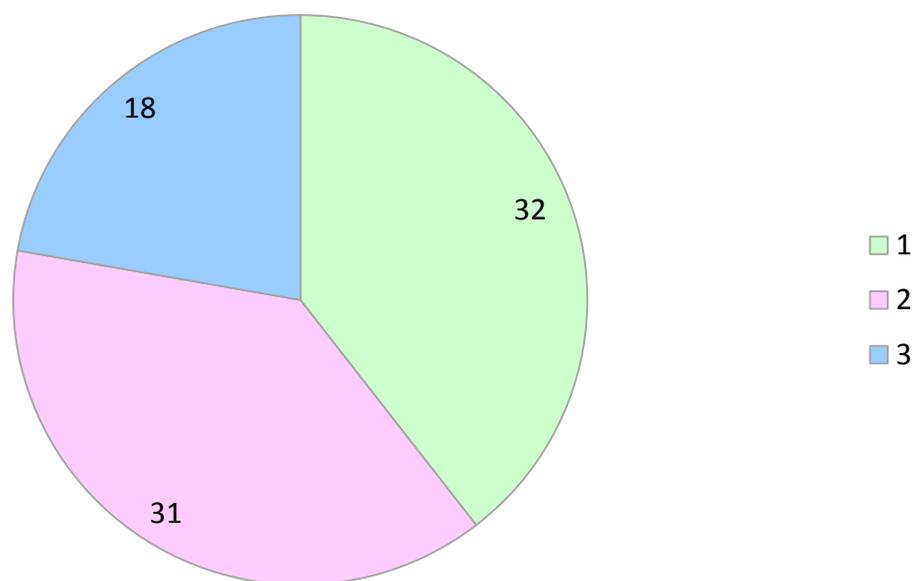
[15] あなたの研究の科学技術分野を教えてください

- 1.ライフサイエンス 2.情報通信 3.環境 4.ナノ・材料 5.エネルギー 6.製造技術 7.社会基盤
8.フロンティア 9.その他



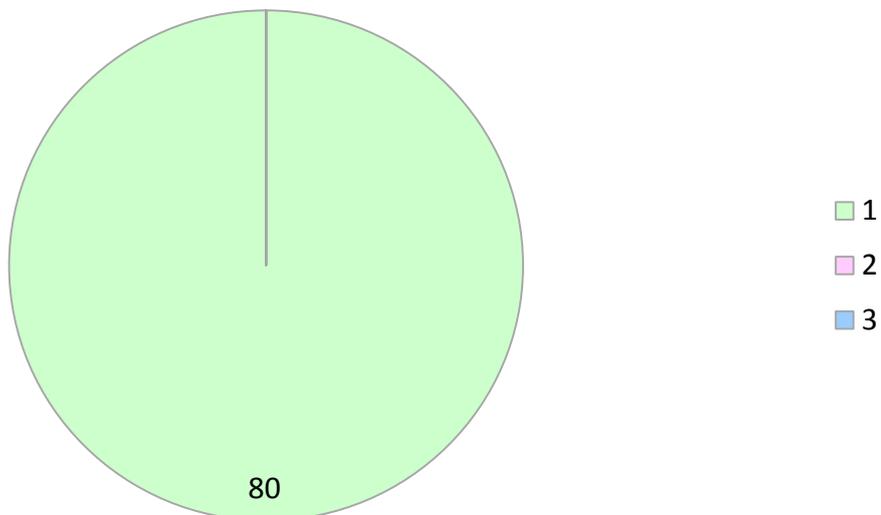
[16]あなたは研究の専門分野以外に社会で活躍できる(自己アピールができる)能力はあると思いますか？

- 1.はい 2.いいえ 3.わからない



[17]あなたは今後、社会で活躍できる能力を伸ばしたいと思いますか？

1.はい 2.いいえ 3.わからない



[18]研究以外の業界／業務では、どのような分野の講師のお話を聞きたいですか？

1.知的財産 2.マスコミ 3.商社関係 4.公的機関 5.医療関係 6.環境関係 7.コンサル 8.ベンチャー 9.その他

